

平成29年 3 月 31 日

伊勢原市協働事業完了報告書

伊勢原市長 殿

住 所 伊勢原市板戸484-1

団体名 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会伊勢原支部

代表者氏名 支部長 藤川 好一

平成28年10月25日付けで協働事業採択決定通知を受けた事業が完了しましたので、伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第14条の規定により、関係書類を添えて次のとおり報告します。

1 協働事業の成果

協働事業名	専門家（建築士）による 景観資源調査と景観ビュースポットマップ事業
事業費総額	97,980円
事業期間	自 平成28年 12月 20日 至 平成29年 3月 31日
実施場所	伊勢原市内全域
参加者数	10名
事業実施内容及びその成果	伊勢原市の景観まちづくりの新たな可能性の模索や景観計画の推進、景観条例の制度活用に関する検討を行うべく、平成27年度に作成した市民目線の景観ビュースポットマップを踏まえ、改めて建築士によるまち歩きを実施し、景観資源の抽出および景観計画の基本方針を考慮した専門家目線の景観ビュースポットマップを作成した。

2 添付資料

- (1) 伊勢原市協働事業収支決算書（第8号様式）
- (2) 協働事業の実施に要した費用の領収書等の写し
- (3) その他市長が必要と認めるもの

第8号様式（第14条関係）

伊勢原市協働事業収支決算書

協働事業名	専門家（建築士）による景観資源調査と景観ビュースポットマップ事業
団 体 名	一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 伊勢原支部

収入の部

区 分	決 算 額 (円)	内 訳 (数量、単価等)
市民活動団体 事業費	47,980	
市負担金	50,000	提案型協働事業負担金
収入合計額	97,980	

支出の部

区 分	決 算 額 (円)	内 訳 (数量、単価等)
事務用品費	0	
印刷・通信費	68,000	マップ製本 @648×100部 調査票および検討資料の印刷
保険料	0	
旅費・交通費	29,980	FW調査、伊勢原市景観シンポジウム、 まちあるきに係る旅費交通費
使用料・借上げ料	0	
支出合計額	97,980	

事業評価シート

段階	評価項目
準備段階	1. 協働が開始された段階はいつからか ☒ 企画の段階から ☐ 実施段階から ☐ その他（ ） 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☒ 市民活動団体 ☐ 市 ☐ その他（ ） 3. 協働で行う意義は明確だったか ☒ はい ☐ いいえ 意義〔市民主体の景観まちづくりを推進する。〕 4. 事業の目的は明確だったか ☒ はい ☐ いいえ 目的〔景観資源の掘り起こしと分析を行う。〕 5. 事業の目標（何がどのような状態になることを意図しているか）は明確だったか ☒ はい ☐ いいえ 目標〔来訪者向けの分かりやすい景観マップを作成する。〕 6. 市民活動団体選定のプロセスは適切だったか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔建築都市計画の専門家の集まる団体である。〕 7. 相互理解は十分だったか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔市の景観計画と協働事業の目的が合致する。〕
実施段階	8. 協定書作成にあたって十分協議したか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔協定書の記載内容の調整を複数回行った。〕 9. 事業運営上の役割分担は適切だったか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔市が情報提供し、市民活動団体が企画・作成した。〕 10. 進捗状況や情報を共有できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔進捗状況の確認を行いながら事業を進めた。〕 11. 実施プロセスの記録は残せたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔三箇年の計画であり、単年度毎にマップを作成する。〕 12. 互いの特性を活かすことができたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔市民活動団体の事業を市がサポートした。〕
終了後の段階	13. 事業内容の報告を作り、公開できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔事業の成果品を一般向けに公開した。〕 14. 目的・目標は達成できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔来訪者向けの分かりやすい景観マップを作成した。〕 15. 今後の課題と改善策を話し合ったか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔三箇年目の進め方について、協議を行った。〕 16. 総合的に見て事業に対する満足度は 【 5 <u>4</u> 3 2 1 】 理由〔今後、景観資源の活動に繋げていく必要がある。〕 17. その他、気づいた点